



平成18年3月期

第1四半期財務・業績の概況(連結)

平成17年8月9日

上場会社名 本州化学工業株式会社

(コード番号: 4115 東証第2部)

(URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 武田 靖弘  
 問合せ先責任者 役職名 経理部長 氏名 桔梗 昌雄

TEL:(03)3272-1482

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
 ・ 金額が僅少なものにつき、一部簡便な方法をとっています。  
 最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 有  
 ・ 詳細は「会計処理方法の変更」に記載しております。  
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第1四半期の概況(平成17年4月1日~平成17年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (百万円未満切捨表示)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	3,979	4.0	305		254	
17年3月期第1四半期	4,145	5.5				
(参考)17年3月期	16,451		1,298		839	

	四半期(当期)純利益		1株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
18年3月期第1四半期	138		12	03		
17年3月期第1四半期						
(参考)17年3月期	687		58	16		

(注)パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。ただし、四半期における経営成績の進捗状況については、各項目とも(売上高を除く)当第1四半期より開示を行っているため、前年同四半期の数値及び増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%	円	銭	
18年3月期第1四半期	21,551		8,223		38.2	715	66	
17年3月期第1四半期								
(参考)17年3月期	21,602		8,252		38.2	716	50	

(注)当第1四半期より財政状態の開示を行っているため、前年同四半期の実績については、記載しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金等価物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
18年3月期第1四半期	657		297		67		1,173	
17年3月期第1四半期								
(参考)17年3月期	1,458		665		331		895	

(注)当第1四半期よりキャッシュ・フローの状況の開示を行っているため、前年同四半期の実績については、記載しておりません。

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

平成17年5月24日の予想を修正しておりません。

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	
中間期	8,700		450		300	
通期	17,500		1,150		700	

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 59円30銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。  
なお、業績予想につきましては、3ページの「(3)連結業績の見通し」をご参照下さい。

#### 4. 経営成績（連結）の進捗状況、及び財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

##### （1）経営成績（連結）の進捗状況

##### （全般的状況）

当第1四半期（平成17年4月1日～平成17年6月30日）においては、昨年大幅に値上げされた主要原材料の価格が高値のまま推移するなかで、IT・デジタル家電関連製品の需給調整が継続されるなど、依然として厳しい事業環境となりました。

このような状況のもとで、当社グループは、営業活動のより積極的な展開とコストダウンの徹底に全力を傾注するとともに、昨年からの原材料価格の高騰に対応した製品価格の是正に努めるなど、収益の改善に取り組んでまいりました。

しかしながら、当社コア製品のうち、“特殊ビスフェノール”は好調な販売を続けることができましたものの、“トリメチルフェノール”は販売価格の値上げの影響により需要が伸び悩むとともに、“ビスフェノール”及び“フォトレジスト材料”は一部ユーザーでの生産・在庫調整の影響を受けたため、需要が減少しました。また、原料価格の値上げによるコスト上昇分に見合った製品価格の改定につきましては、顧客との交渉が難航したため当初見込みの価格修正を実現するには至りませんでした。

この結果、当第1四半期の売上高は39億79百万円（前年同期比4.0%）、営業利益は3億5百万円、経常利益2億54百万円、四半期純利益は1億38百万円となりました。

当第1四半期の営業部門別の状況は、次のとおりです。

##### （高機能樹脂原料部門）

- ・ビスフェノール（パソコンや携帯電話等のIT関連機器やデジタル家電の電子部品に用いられる耐熱性、精密成形性に優れた液晶ポリマー（LCP）の主原料）は、米国の一部ユーザーにおける在庫調整等により輸出が減少したため、売上高は前年同期を下回りました。
- ・特殊ビスフェノール（耐熱性、剛性に優れた特殊ポリカーボネート樹脂や特殊エポキシ樹脂の原料）は、当社の連結子会社であるハイビス社（注）によるバイエル社への特殊ポリカーボネート樹脂（自動車部品用）向けの販売を中心に好調に推移したため、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

（注）特殊ビスフェノールをドイツにおいて企業化するため、平成13年11月に当社、バイエル社及び三井物産（株）の三社共同出資（当社出資比率55%）により設立された会社であり、同社では平成16年12月から販売活動を開始しました。

この結果、高機能樹脂原料部門の売上高は16.4億円（前年同期比+7.7%）となり、総売上高に占める割合は41.4%（前年同期比+4.5ポイント）となりました。

##### （高機能化学品部門）

- ・フォトレジスト材料（半導体及び液晶ディスプレイ（LCD）の製造過程で使用）は、IT・デジタル家電関連製品の生産・在庫調整による需要鈍化により、売上高は前年同期を下回りました。
- ・トリメチルフェノール（主として家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンE原料）は、販売価格の値上げの影響により国内外の需要の伸長を押さえ込むこととなりましたが、前年同期売上高対比では、若干上回る事となりました。
- ・その他のメタパラクレゾール誘導品は、酸化防止剤原料向けなどの需要が減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、高機能化学品部門の売上高は、19.5 億円（前年同期比 4.0%）となり、総売上高に占める割合は、前年同期と同一の 49.1%となりました。

（その他化成品部門）

当第 1 四半期においても、引き続きリセール製品の整理・削減を推進したため、その他化成品部門の売上高は減少し、3.7 億円（前年同期比 34.5%）となり、総売上高に占める割合は、9.5%（前年同期比 4.5 ポイント）となりました。

【参考】部門別売上高

（百万円未満切捨表示）

	当第 1 四半期		前年同四半期		売上増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
高機能樹脂原料	1,647	41.4%	1,530	36.9%	7.7%
高機能化学品	1,953	49.1%	2,035	49.1%	4.0%
その他化成品	379	9.5%	579	14.0%	34.5%
合計	3,979	100.0%	4,145	100.0%	4.0%

（2）財政状態（連結）の変動状況

資産、負債、資本の状況

- ・流動資産は、現預金の増加（2.7 億円） 売掛金の減少（ 1.6 億円） 棚卸資産の増加（2.8 億円） その他流動資産の減少（ 0.4 億円）等により、前期比 2.7 億円増加し、99.9 億円になりました。
- ・固定資産は、新規取得が減価償却費を下回ったため、前期比 3.2 億円減少し、115.4 億円になりました。
- ・この結果総資産は、前期比 0.5 億円減少し、215.5 億円になりました。
- ・負債合計は、前期並みの、122.3 億円になりました。
- ・この結果、自己資本比率は前期と同一の 38.2%となりました。

キャッシュ・フロー - の状況

- ・営業活動によるキャッシュ・フロー - は、税金等調整前利益及び減価償却費等により、6.5 億円の収入になりました。
- ・投資活動によるキャッシュ・フロー - は、有形固定資産の取得等により、2.9 億円の支出になりました。
- ・財務活動によるキャッシュ・フロー - は、配当金の支払等により、0.6 億円の支出になりました。
- ・この結果、現金及び現金同等物の当期末残高は、前期比 2.7 億円増加し、11.7 億円になりました。

（3）連結業績の見通し

当第 1 四半期の連結業績は、ほぼ当初の計画通り推移しております。当社グループは、引き続き営業活動とコストダウンに全力を傾注する所存ですので、現時点では平成 17 年 5 月 24 日発表の業績予想を修正しておりません。

（会計処理方法の変更）

当社の製品、半製品、仕掛品、原料材料については、従来、評価基準及び評価方法として移動平均法による原価法を採用していましたが、当連結会計年度より総平均法による原価法に変更いたしました。この変更は、製品、商品及び原料材料等の価格変動が著しい経済環境のもと、財政状態の健全化を目的とするものです。この変更により、従来の方法によった場合と比較して、当第 1 四半期の経常利益及び税金調整前四半期純利益は 45 百万円増加しております。

【参考】

平成18年3月期第1四半期個別財務・業績の概況（平成17年4月1日～平成17年6月30日）

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨表示)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	3,606	13.0	234		202	
17年3月期第1四半期	4,145	5.5				
(参考)17年3月期	16,055		1,399		968	

	(四半期)当期純利益		1株当たり (四半期)当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
18年3月期第1四半期	109		9	54		
17年3月期第1四半期						
(参考)17年3月期	628		53	01		

(注)パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。ただし、四半期における経営成績の進捗状況については、各項目とも(売上高を除く)当第1四半期より開示を行っているため、前年同四半期の数値及び増減率は記載していません。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産		株主資本		株主資本比率		1株当たり株主資本	
	百万円		百万円		%	円	銭	
18年3月期第1四半期	17,477		7,719		44.2	671	80	
17年3月期第1四半期								
(参考)17年3月期	17,359		7,725		44.5	670	67	

(注)当第1四半期より財政状態の開示を行っているため、前年同四半期の実績については、記載していません。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金等価物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
18年3月期第1四半期	444		254		67		627	
17年3月期第1四半期								
(参考)17年3月期	1,468		205		1,164		504	

(注)当第1四半期よりキャッシュ・フローの状況の開示を行っているため、前年同四半期の実績については、記載していません。

3. 平成18年3月期の業績予想（平成17年4月1日～平成18年3月31日）

平成17年5月24日の予想を修正していません。

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	
中間期	8,000		400		250	
通期	16,000		1,000		600	

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 50円60銭

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。

## 連結財務諸表等

### 1. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期 (平成17年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)		増減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
(資産の部)		%		%	
・流動資産	9,992	46.4	9,721	45.0	271
現金及び預金	1,173		895		277
売掛金	4,152		4,315		162
棚卸資産	4,347		4,058		288
繰延税金資産	32		115		83
その他	287		336		49
・固定資産	11,548	53.6	11,869	54.9	320
1.有形固定資産	10,446	48.5	10,772	49.9	325
建物及び構築物	1,562		1,578		16
機械装置及び運搬具	8,055		8,205		150
土地	551		554		2
建設仮勘定	102		257		154
その他	174		175		1
2.無形固定資産	7	0.0	8	0.0	0
3.投資その他の資産	1,095	5.1	1,089	5.0	5
投資有価証券	220		228		7
繰延税金資産	770		752		18
その他	118		123		4
貸倒引当金	14		14		0
・繰延資産	9	0.0	11	0.1	1
開業費	9		11		1
資産合計	21,551	100.0	21,602	100.0	50

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期 (平成17年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)		増減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
(負債の部)		%		%	
・流動負債	7,734	35.9	7,067	32.7	666
買掛金	2,265		2,225		40
短期借入金	3,000		3,000		0
1年内返済予定の長期借入金	1,017		524		492
未払金	470		299		171
未払法人税等	60		221		161
設備未払金	290		355		65
その他	630		440		189
・固定負債	4,500	20.9	5,171	24.0	670
長期借入金	2,851		3,438		587
退職給付引当金	1,604		1,627		22
役員退職慰労引当金	37		97		60
その他	7		7		0
負債合計	12,235	56.8	12,238	56.7	3
(少数株主持分)					
少数株主持分	1,092	5.0	1,111	5.1	18
(資本の部)					
・資本金	1,500	7.0	1,500	6.9	
・資本剰余金	1,013	4.7	1,013	4.7	
・利益剰余金	5,621	26.1	5,594	25.9	27
・その他有価証券評価差額金	32	0.2	37	0.2	4
・為替換算調整勘定	60	0.2	111	0.5	51
・自己株式	4	0.0	4	0.0	0
資本合計	8,223	38.2	8,252	38.2	28
負債、少数株主持分及び資本合計	21,551	100.0	21,602	100.0	50

## 2. 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期 〔自 平成17年4月 1日〕 〔至 平成17年6月30日〕		前連結会計年度 〔自 平成16年4月 1日〕 〔至 平成17年3月31日〕	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比
		%		%
. 売 上 高	3,979	100.0	16,451	100.0
. 売 上 原 価	3,238	81.4	13,273	80.7
売上総利益	741	18.6	3,177	19.3
. 販売費及び一般管理費	436	11.0	1,879	11.4
営 業 利 益	305	7.6	1,298	7.9
. 営 業 外 収 益	32	0.8	15	0.1
受取利息及び配当金	1		4	
その他	31		11	
. 営 業 外 費 用	83	2.1	474	2.9
支払利息	27		70	
棚卸資産廃棄損	1		172	
生産休止費用	45		159	
その他	8		71	
経 常 利 益	254	6.4	839	5.1
. 特 別 利 益	-		306	1.9
政府補助金受贈益	-		236	
固定資産売却益	-		69	
税金等調整前当期純利益	254	6.4	1,145	7.0
法人税・住民税及び事業税	25	0.6	440	2.7
法 人 税 等 調 整 額	68	1.7	30	0.2
少 数 株 主 利 益	23	0.6	48	0.3
当 期 純 利 益	138	3.5	687	4.2

### 3. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当第1四半期	前連結会計年度
	〔自 平成17年4月 1日 至 平成17年6月30日〕	〔自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日〕
	金 額	金 額
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	254	1,145
減価償却費	399	1,359
退職給付引当金の増減( )額	22	95
固定資産売却益( )		69
売上債権の増( )減額	164	729
棚卸資産の増( )減額	289	14
仕入債務の増減( )額	40	377
補助金受贈益( )		236
その他	328	25
小 計	874	1,983
法人税等の支払額	191	477
その他	25	47
営業活動によるキャッシュ・フロー	657	1,458
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	297	1,685
有形固定資産の売却による収入		388
政府補助金収入		642
その他		11
投資活動によるキャッシュ・フロー	297	665
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額		900
長期借入金の借入による収入		933
長期借入金の返済による支出	0	226
配当金の支払額	66	137
その他		1
財務活動によるキャッシュ・フロー	67	331
・ 現金及び現金同等物に係る換算差額	14	2
・ 現金及び現金同等物の増減( )額	277	462
・ 現金及び現金同等物の期首残高	895	432
・ 現金及び現金同等物の期末残高	1,173	895

(参考:個別の状況)

## 財務諸表等

### 1.貸借対照表

(金額は百万円未満切捨表示)

期 別 科 目	当第1四半期 (平成17年6月30日現在)		前 期 (平成17年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産	9,176	52.5	8,973	51.7
現金及び預金	627		504	
売掛金	4,124		4,212	
製品	3,220		3,004	
半製品・仕掛品	654		595	
原料・貯蔵品	458		446	
前払費用	30		29	
繰延税金資産	32		115	
その他	28		64	
固定資産	8,300	47.5	8,385	48.3
有形固定資産	6,367	36.4	6,457	37.2
建物	898		894	
構築物	350		355	
機械装置	4,376		4,311	
車両運搬具	6		4	
工具器具備品	156		157	
土地	477		477	
建設仮勘定	101		257	
無形固定資産	7	0.1	7	0.0
投資その他の資産	1,926	11.0	1,920	11.1
投資有価証券	210		218	
関係会社株式・出資金	841		841	
繰延税金資産	770		752	
その他	118		123	
貸倒引当金	14		14	
資産合計	17,477	100.0	17,359	100.0

(金額は百万円未満切捨表示)

科 目	期 別		前 期	
	当第1四半期 (平成17年6月30日現在)		(平成17年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%
流 動 負 債	7,261	41.5	6,754	38.9
買掛金	2,260		2,224	
短期借入金	3,000		3,000	
1年内返済予定の長期借入金	616		316	
未払金	422		254	
未払費用	517		312	
未払法人税等	60		221	
未払消費税等	44		48	
設備未払金	290		332	
その他	49		43	
固 定 負 債	2,496	14.3	2,879	16.6
長期借入金	846		1,147	
退職給付引当金	1,604		1,627	
役員退職慰労引当金	37		97	
その他	7		7	
負 債 合 計	9,758	55.8	9,634	55.5
(資本の部)				
資 本 金	1,500	8.6	1,500	8.7
資 本 剰 余 金	1,013	5.8	1,013	5.8
資本準備金	1,013		1,013	
利 益 剰 余 金	5,177	29.6	5,179	29.8
利益準備金	211		211	
任意積立金				
配当準備積立金	20		20	
固定資産圧縮積立金	286		192	
別途積立金	3,900		3,600	
当期末処分利益	759		1,155	
その他有価証券評価差額金	32	0.1	37	0.2
自 己 株 式	4	0.0	4	0.0
資 本 合 計	7,719	44.2	7,725	44.5
負 債 及 び 資 本 合 計	17,477	100.0	17,359	100.0

## 2. 損益計算書

(金額は百万円未満切捨表示)

期 別 科 目	当第1四半期 自 平成17年4月 1日 至 平成17年6月30日		前 期 自 平成16年4月 1日 至 平成17年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	3,606	100.0	16,055	100.0
売 上 原 価	2,975	82.5	12,945	80.6
売 上 総 利 益	630	17.5	3,109	19.4
販売費及び一般管理費	395	11.0	1,709	10.7
営 業 利 益	234	6.5	1,399	8.7
営 業 外 収 益	<u>32</u>	0.9	<u>15</u>	0.1
受取利息及び配当金	1		3	
その他	31		11	
営 業 外 費 用	<u>64</u>	1.8	<u>446</u>	2.8
支 払 利 息	9		45	
棚卸資産廃棄損	1		172	
生産休止費用	45		159	
その他	8		69	
経 常 利 益	202	5.6	968	6.0
特 別 利 益	-	-	<u>69</u>	0.4
固定資産売却益	-		69	
税引前当期純利益	202	5.6	1,038	6.4
法人税・住民税及び事業税	25	0.7	440	2.7
法人税等調整額	68	1.9	30	0.2
当 期 純 利 益	109	3.0	628	3.9
前期繰越利益	650		595	
中間配当額	-		68	
当期末処分利益	<u>759</u>		<u>1,155</u>	

### 3. キャッシュ・フロー計算書

(金額は百万円未満切捨表示)

科 目	期 別	前 期
	当第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日	自平成16年4月1日 至平成17年3月31日
	金 額	金 額
. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	202	1,038
減価償却費	304	1,212
退職給付引当金の増減( )額	22	95
固定資産売却益( )	-	69
売上債権の増( )減額	87	625
棚卸資産の増( )減額	286	26
仕入債務の増減( )額	35	377
その他	322	66
小 計	642	1,987
法人税等の支払額	7	477
その他	191	42
営業活動によるキャッシュ・フロー	444	1,468
. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	254	583
有形固定資産の売却による収入	-	388
投資有価証券の取得による支出	0	0
その他	-	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	254	205
. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減( )額	-	900
長期借入金の借入による収入	-	100
長期借入金の返済による支出	0	226
配当金の支払額	66	137
その他	-	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	67	1,164
. 現金及び現金同等物の増減( )額	122	98
. 現金及び現金同等物の期首残高	504	406
. 現金及び現金同等物の期末残高	627	504